

SAMPLE



RIM INTELLIGENCE CO.

フェアな価格 確かな信頼

# バンカーオイル

## Bunker Oil

☆RIM BUNKER OIL INTELLIGENCE DAILY

★No. 9591 Mar 1 2024

Copyright(C) 2024 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 12:30 JST Mar 1 2024<Assessment Closing Time>

お申し込み >

試読 >

### ◎お知らせ

#### ○季刊誌『エネルギー通信』第19号発売のお知らせ

リム情報開発は2月20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第19号を発行しました。今号ではJR東海の水素動力車両に関する特集記事や、脱炭素化に向けて先進的な取り組みを見せるテスHDとシナネンへのインタビュー記事を掲載。化石燃料のデータ集や分析記事に加えて、インドと米国のアンモニア事情など国際的なトピックスも取り上げており、業界の全体像を把握できること請け合いです。『エネルギー通信』第19号で、最新の動向をぜひご確認ください。※『エネルギー通信』は、WEBで閲覧いただくことができます。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/>

TEL: 03-3552-2411 / Email: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

#### ○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたします。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

TEL: 03-3552-2411 / E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

#### ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

1日のレックス22は、前日から0.22ポイント下落し170.83です

#### -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

TEL: 03-3552-2411 / E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	GROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信



## ◎North/South America

--- 29Feb24 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Vancouver BC*	470.00 - 473.00	-2.00	663.00 - 666.00	-19.00	805.00 - 815.00	-22.00
Seattle/Tacoma*	452.00 - 455.00	-3.00	677.00 - 680.00	+4.00	837.00 - 847.00	+2.00
Los Angeles*	475.00 - 478.00	-5.00	698.00 - 701.00	-2.00	890.00 - 900.00	-5.00
San Francisco*	NA - NA	-	707.00 - 710.00	-3.00	935.00 - 945.00	-5.00
New York*	536.00 - 539.00	-2.00	594.00 - 597.00	-3.00	860.00 - 870.00	-5.00
Philadelphia*	542.00 - 545.00	-3.00	600.00 - 603.00	-4.00	840.00 - 850.00	-10.00
Norfolk*	551.00 - 554.00	-1.00	622.00 - 625.00	-2.00	878.00 - 888.00	+3.00
Houston*	465.00 - 468.00	-2.00	635.00 - 638.00	-2.00	840.00 - 850.00	+5.00
New Orleans*	527.00 - 530.00	-9.00	657.00 - 660.00	-1.00	850.00 - 860.00	+5.00
Panama*	459.00 - 462.00	+2.00	667.00 - 670.00	+5.00	870.00 - 880.00	-3.00

--Note: In US DLRS/MT, \*Ex-wharf

## ◎Europe

--- 29Feb24 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Rotterdam	456.00 - 459.00	-1.00	576.00 - 579.00	+6.00	776.00 - 786.00	-9.00
Antwerp	466.00 - 469.00	+7.00	579.00 - 582.00	-8.00	792.00 - 802.00	-13.00
Hamburg	476.00 - 479.00	-1.00	591.00 - 594.00	-5.00	870.00 - 880.00	-10.00
Gibraltar	529.00 - 532.00	-5.00	622.00 - 625.00	+5.00	860.00 - 870.00	-15.00
Algeciras	529.00 - 532.00	-5.00	622.00 - 625.00	+5.00	860.00 - 870.00	-15.00

--Note: In US DLRS/MT

## ◎Middle East/Africa

--- 29Feb24 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Las Palmas	547.00 - 550.00	-8.00	624.00 - 627.00	+5.00	875.00 - 885.00	-3.00
Tenerife	547.00 - 550.00	-8.00	624.00 - 627.00	+5.00	875.00 - 885.00	-3.00
Kuwait	417.00 - 420.00	-3.00	618.00 - 621.00	+1.00	870.00 - 880.00	+5.00
Fujairah	417.00 - 420.00	-3.00	618.00 - 621.00	+1.00	870.00 - 880.00	+5.00

--Note: In US DLRS/MT

## ◎Asia

--- 29Feb24 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO (LSMDO: Japan)	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Tokyo Bay	542.00 - 545.00	+3.00	685.00 - 688.00	-5.00	819.00 - 829.00	-1.00
West Japan	548.00 - 551.00	+3.00	710.00 - 713.00	-5.00	829.00 - 839.00	-1.00
Ise Bay	547.00 - 550.00	+3.00	705.00 - 708.00	-5.00	819.00 - 829.00	-1.00
#Rim Average-Feb	530.98	+0.15	678.07	-0.24	821.10	-0.04
S. Korea	464.00 - 467.00	-3.00	648.00 - 651.00	-6.00	750.00 - 760.00	-17.00
Taiwan Kaohsiung PP***	476.00 - 479.00	+5.00	662.00 - 665.00	+15.00	877.00 - 880.00	+15.00
Taiwan Keelung PP***	NA - NA	-	662.00 - 665.00	+15.00	877.00 - 880.00	+15.00
Taiwan Taichung PP***	NA - NA	-	662.00 - 665.00	+15.00	877.00 - 880.00	+15.00
Taiwan Others PP***	NA - NA	-	662.00 - 665.00	+15.00	877.00 - 880.00	+15.00
Shanghai	452.00 - 455.00	-3.00	627.00 - 630.00	-9.00	845.00 - 855.00	-5.00

Zhoushan	440.00 - 443.00	-2.00	622.00 - 625.00	-7.00	815.00 - 825.00	-5.00
Hong Kong	445.00 - 448.00	-3.00	625.00 - 628.00	-23.00	772.00 - 782.00	-18.00
Singapore	436.00 - 439.00	-3.00	626.00 - 629.00	-8.00	762.00 - 772.00	-16.00
Bangkok	490.00 - 493.00	-2.00	690.00 - 693.00	-7.00	885.00 - 895.00	-10.00
Colombo	NA - NA	-	702.00 - 705.00	-10.00	905.00 - 915.00	-15.00

--Note: In US DLRS/MT, \*Nakhodka, Vostochny, Vladivostok, \*\*\*Posted Prices  
 #Rim Tokyo Bay monthly average

## ◎特集記事

## ○代替燃料

## LNG bunker prices — 28Feb24 Closing Quotes —

Port/Location	Change#	Low		High	Change#
Rotterdam	+88	615	-	685	+88
Singapore	+53	661	-	731	+53

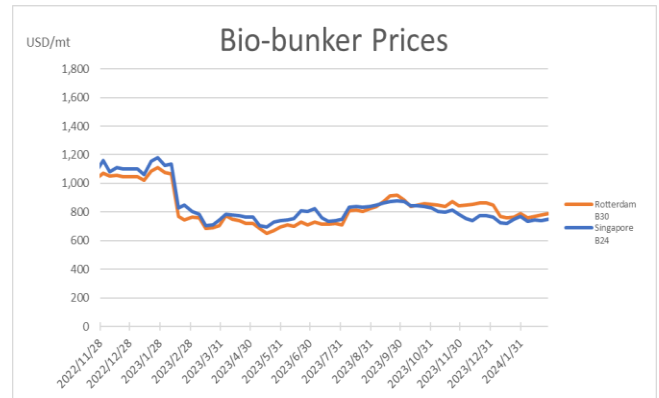
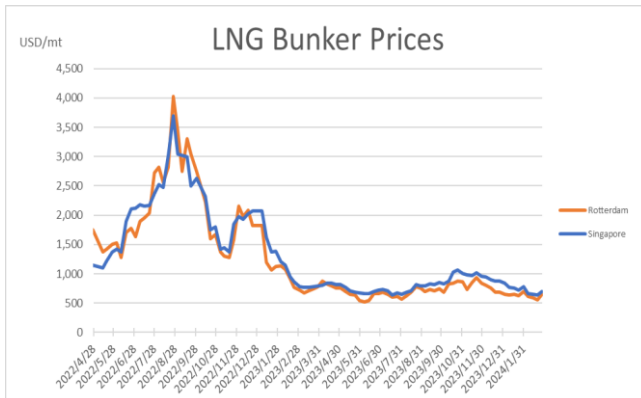
--Note: In US DLRS/MT, #from the previous week

## Bio-bunker prices — 28Feb24 Closing Quotes —

Port/Location	Change#	Low		High	Change#
Rotterdam B30	+13	780	-	800	+13
Singapore B24	+9	741	-	761	+9

--Note: In US DLRS/MT, #from the previous week, UCOME-based

(毎週木曜日に価格を更新いたします)



## ◎マーケットコメント

## ○概況

29日のバンカー相場は、原油安を受け大方の地域で下落した。

29日のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油先物相場は続落した。当限4月物の終値は前日比28セント/バレル安の78.26ドル。1週間前に比べると35セント安い。

米国経済の先行き不透明が意識され、売りが優勢となった。29日に発表された2月のシカゴ購買部協会景気指数は市場予想に反して低下し、景況の判断基準である50を3カ月連続で下回っ

た。景気後退を示唆する同指標内容を受け、石油需要が減少するとの警戒感が高まった。

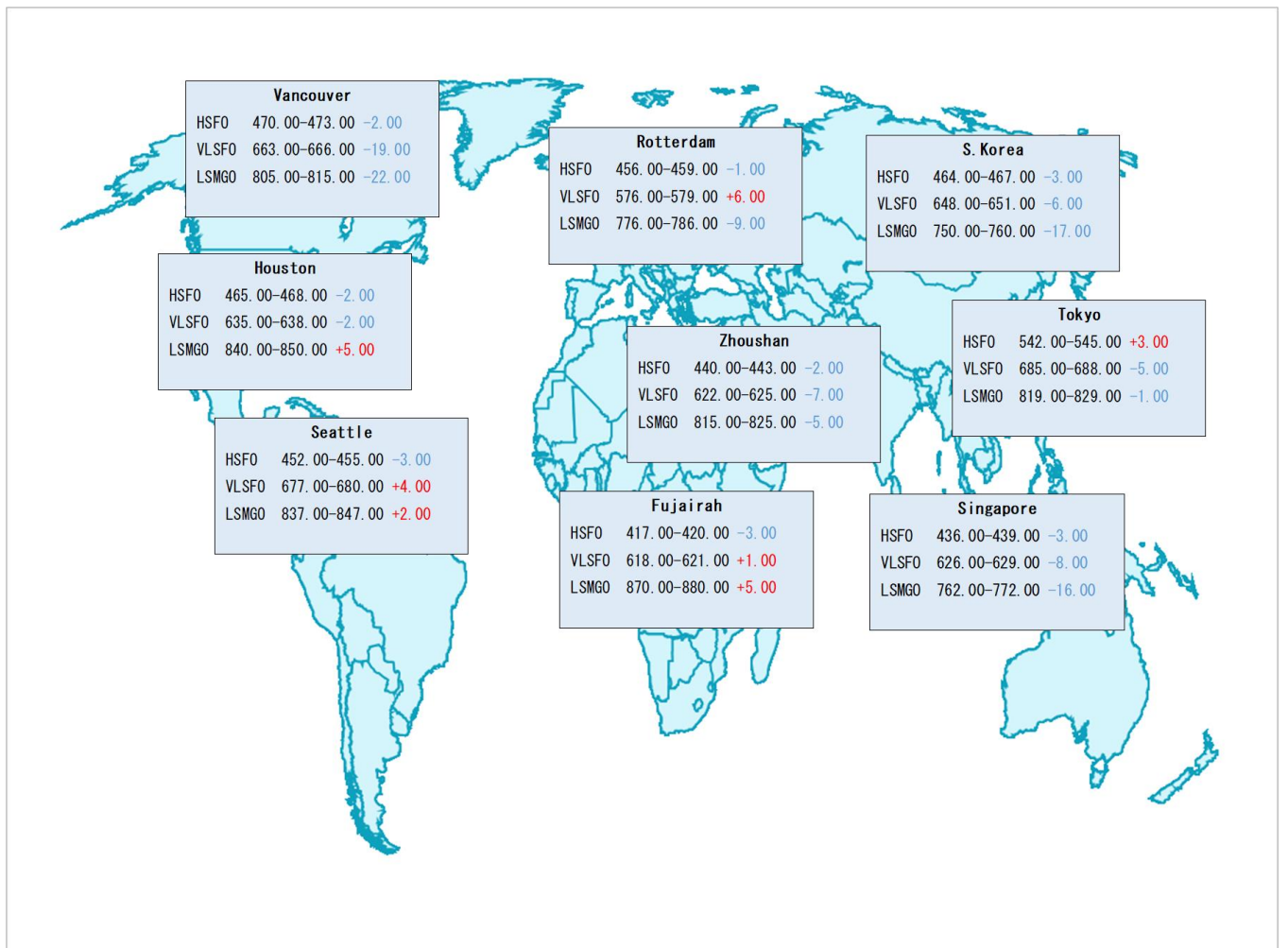
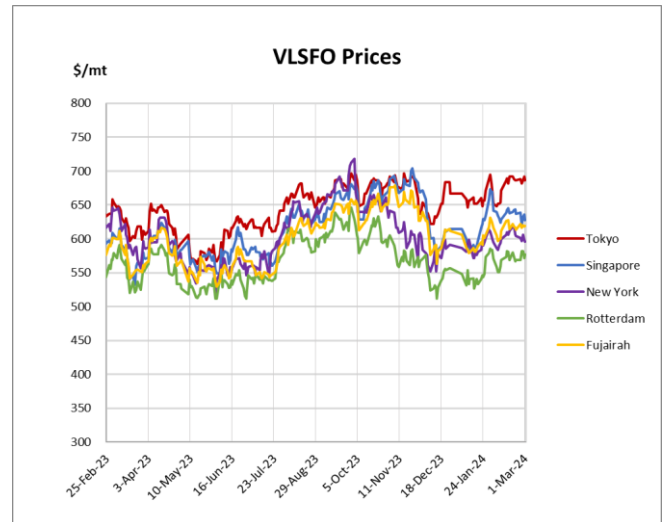
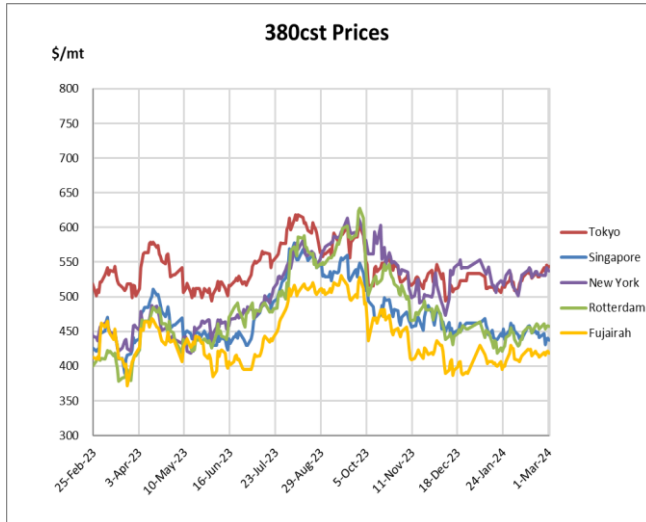
ただ、買いが先行する面もあった。米商務省が29日に発表した1月の米個人消費支出(PCE)が市場予想と一致し、インフレの鈍化傾向が示された。利下げ開始が遅れるとの過度な懸念が和らぎ、米株価が上げ幅を広げた場面では、同じリスク資産の原油にも買いが入った。

インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油先物相場は反落した。当限4月物の終値は前日比6セント安の83.62ドル。1週間前よ

りも5セント安い。

29日 主要原油の当限引け値は次のとおり。

- \* NYMEX・WTI 4月： 78.26ドル（前日比 0.28ドル安）
- \* ICE・BRENT 4月： 83.62ドル（前日比 0.06ドル安）



## ○バンクーバー

バンクーバーの380cst相場は、470.00～473.00ドルと前日から2.00ドル下落した。売唱えは470.00～504.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、663.00～666.00ドルと同19.00ドル大幅に下落した。売唱

えは663.00～722.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、805.00～815.00ドルと同22.00ドル大幅に下落した。売唱えは805.00～893.00ドルが聞かれた。いずれも原油安を受けた。

## ○米西海岸

シアトルの380cst相場は、452.00～455.00ドルと前日から3.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、677.00～680.00ドルと同4.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、837.00～847.00ドルと同2.00ドルそれぞれ上昇した。いずれも需給の引き締まりを受けた。

ロサンゼルス380cst相場は、475.00～478.00ドルと前日から5.00ドル、硫黄分0.5%以

下のVLSFO相場は、698.00～701.00ドルと同2.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、890.00～900.00ドルと同5.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

サンフランシスコの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、707.00～710.00ドルと前日から3.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、935.00～945.00ドルと同5.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

## ○米東海岸

ニューヨークの380cst相場は、536.00～539.00ドルと前日から2.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、594.00～597.00ドルと同3.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、860.00～870.00ドルと同5.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

フィラデルフィアの380cst相場は、542.00～545.00ドルと前日から3.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、600.00～603.00ドルと同4.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、840.00～

850.00ドルと同10.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

ノーフォークの380cst相場は、551.00～554.00ドルと前日から1.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、622.00～625.00ドルと同2.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。一方、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、878.00～888.00ドルと同3.00ドル上昇した。需給の引き締まりを受けた。

## ○米ガルフ

ヒューストンの380cst相場は、465.00～468.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、635.00～638.00ドルといずれも前日から2.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、840.00～850.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締まりを受けた。

ニューオーリンズの380cst相場は、527.00～530.00ドルと前日から9.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、657.00～660.00ドルと同1.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。一方、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、850.00～860.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引

き締めを受けました。

### ○北西ヨーロッパ

オランダのロッテルダムの380cst相場は、456.00～459.00ドルと前日から1.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、576.00～579.00ドルと同6.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、776.00～786.00ドルと同9.00ドル下落した。原油安を受けた。

輸入カーゴの流入量減少を背景に、ロッテルダムでは供給引き締め感が強まっている。VLSFOは引火点の低い粗悪品が1月末から2月中旬に流通したことで、3月前半渡しまで品質を担保する供給業者に引き合いが集中しているようだ。

地政学的リスクの高まりに伴う、紅海/スエズ運河の通航困難を受け、多くの船会社はアジアと欧州間の航路として喜望峰経路を選択している。この影響で、輸入カーゴの到着が遅れている。また、米国では1月に発生した寒波による製油所の精製装置の不具合が長期化。同国

から欧州向けの石油製品の流通が鈍化している。このほか、内需に対応するため、ロシアも3月から6カ月間、ガソリン輸出を禁止することもあり、欧州は石油製品不足が加速する可能性が高い。一方で、船舶の到着遅れや欧州域内の景気低迷から、船舶の寄港数も減少する可能性も高く、需給逼迫は限定的との見通しもある。

ベルギーのアントワープの380cst相場は、466.00～469.00ドルと前日から7.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、579.00～582.00ドルと同8.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、792.00～802.00ドルと同13.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

ドイツのハンブルグの380cst相場は、476.00～479.00ドルと前日から1.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、591.00～594.00ドルと同5.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、870.00～880.00ドルと同10.00ドルそれぞれ下落した。いずれも原油安を受けた。

### ○ジブラルタル・アルヘシラス

英領ジブラルタルの380cst相場は、529.00～532.00ドルと前日から5.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、622.00～625.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、860.00～870.00ドルと同15.00ドル下落した。原油安を受けた。

スペインのアルヘシラスの380cst相場は、529.00～532.00ドルと前日から5.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、622.00～625.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、860.00～870.00ドルと同15.00ドル下落した。原油安を受けた。

### ○フジャイラ

アラブ首長国連邦(UAE)フジャイラの380cst相場は、417.00～420.00ドルと前日から3.00ドル下落した。シンガポール重油先物安を受けた。売値は417.00～435.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、618.00～621.00ドルと同1.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けた。売値は618.00～635.00ドル

が聞かれた。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、870.00～

880.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締まりを受けた。売唱えは870.00～915.00ドルが聞かれた。

## ○日本

日本の380cst相場は、京浜で542.00～545.00ドルと前日から3.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。売唱えは545.00～548.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、京浜で685.00～688.00ドルと同5.00ドル下落した。シンガポール0.5%S重油先物安を受けた。売唱えは685.00～704.00ドルが伝えられた。中国、韓国など近隣港との価格差拡大に伴い、需要の減退が目立っている。29日は目立った引き合いがみられず、市場は閑散とした。

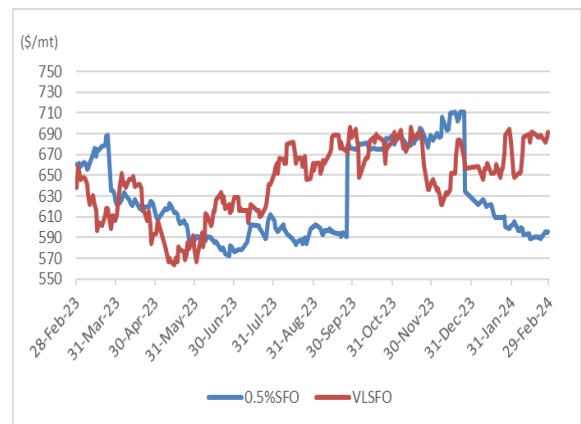
硫黄分0.5%以下のLSMDO相場は819.00～829.00ドルと同1.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安を受けた。売唱えは829.00～839.00ドルが聞かれた。なお、リムバンカー重油VLSFOの2月の月間平均価格は678.07ドルと先月より16.15ドル高い。

### 【東京湾のVLSFOおよび0.5%S重油】

京浜のVLSFO相場は、2月28日に691.50ドルと2月21日時点から5.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S重油先物高を受けた。引き合いの対象が3月渡しに移行、市場参加者は市況観を探

りながら唱えを挙げている。競合する韓国、中国との相見積もりが多く報告されているが、両国との価格差が開いているため成約に至るケースは少ないという。

0.5%S重油は97,000円と2月21日から1,000円上昇した。引き合いの対象が3月渡しに移行、1～3月のENEOS基準価格フラットの買いアイデアが伝えられた。1～3月のENEOS基準価格は、12～2月の原油価格を対象にしているため、高流動点(HPP)0.5%S価格の予想はおおむね95,000円前後に集中している。ただ、基材、供給コストなどプレミアム部分の予想が難しいため、中間業者の多くは固定値の唱えを挙げることを避けているようだ。



## ○韓国

韓国の380cst相場は、464.00～467.00ドルと前日から3.00ドル下落した。シンガポール重油先物安を受けた。GSカルテックスは467.00～470.00ドルで売り唱えた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、648.00～651.00ドルと同6.00ドル下落した。シンガポール0.5%S重油先物安を受けた。SKエナジー、S-オイルはともに651.00～654.00ドルで売り唱えた。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、750.00～760.00ドルと同17.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安を受けた。GSカルテックスは760.00～770.00ドル、SKエナジー、S-オイルはともに766.00～776.00ドルでそれぞれ売り唱えた。

明日からの連休を控え、外国船社を中心に多くの引き合いが報告された。ただ、VLSFOに関

しては割安な中国で手配する傾向が強く、LSMGOのみの引き合いが多かった。なお、SKエナジーは4日以降、S-オイルと現代オイルバン

クは9日以降の受け渡しを条件に唱えを挙げている。

## ○中国

中国・舟山の380cst相場は、440.00～443.00ドルと前日から2.00ドル弱含んだ。シンガポール重油先物安を受けた。売唱えは440.00～450.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は622.00～625.00ドルと同7.00ドル反落した。シンガポール0.5%S重油先物安が影響した。売唱えは622.00～645.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは29日、3月7日以降渡し計500トン以上がシンガポール0.5%S重油市況比12～34ドルのプレミアムで成約されたようだ。プレミアム幅は前日から2ドル縮小した。

需給の緩みを受け、舟山のVLSFOの指標となるシンガポール0.5%S重油先物に対するプレミアムは縮小している。足元のVLSFOの最短の受け渡しは、天候不安も鑑み3月7日以降という。

中国政府は、半導体などのハイテク製品に使

用するレアアースといった鉱物資源の輸出を2023年夏以降制限している。鉱物資源の輸出が大幅に減少し、中国全土でバルカー寄港が低迷。バンカー需要が大幅に減少している。また、不動産業界の景気不安に伴い、新規大型建設受注が頓挫しており、建設機械に使用する軽油需要も低迷。これを受け余剰となった軽油を安価に欧州などへ輸出する動きもあるようだ。

一方、国内の炭鉱労働者の減少に伴い、石炭を輸入に頼らざるを得なくなっている。冬期間の石炭輸入は高水準にとどまっている。ただ、4月以降は石炭輸送が鈍化するとの見通しも強まり、バンカー需要が弱含む可能性が高いようだ。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は815.00～825.00ドルと同5.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安が要因。売唱えは815.00～850.00ドルが聞かれた。

## ○香港

香港の380cst相場は、445.00～448.00ドルと前日から3.00ドル反落した。シンガポール重油先物安を受けた。売唱えは445.00～455.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、625.00～628.00ドルと同23.00ドル急落した。シンガポール0.5%S重油先物安が影響した。売唱えは625.00～649.00ドルが聞かれた。

輸入コストが安価な中国品の流入の増加を

受け、一部の売り手がVLSFOの価格を引き下げて販促を仕掛けている。市場関係者によると、余剰分のLSFOがカーゴとして中国から香港へ流れているという。この結果、コストが比較的高いシンガポールからの玉は減少しているようだ。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、772.00～782.00ドルと同18.00ドル続落した。シンガポール軽油先物安が要因。売唱えは772.00～795.00ドルが聞かれた。



**○シンガポール**

シンガポールの380cst相場は436.00～439.00ドルと前日から3.00ドル弱含んだ。シンガポール重油先物安を反映した。売唱えは436.00～448.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、626.00～629.00ドルと同8.00ドル反落した。シンガポール0.5%S重油先物安が影響した。売唱えは626.00～645.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは29日、3月6日以降渡し計500トン以上がシンガポール0.5%S重油市況比18～26ドルのプレミアムで成約されたようだ。プレミアム幅は前日から2ドル縮小した。

輸入玉が安定的に流入していることに加え、輸出が減少するとの見方から、シンガポールのVLSFO価格は弱含んでいる。3月渡しはセンチメントが弱く、相場の上伸力に欠けるといふ。ただ、欧州に向かう船舶からは引き続き堅調な買い気がみられ、オーダーが重なると船繰りが逼迫しやすい地合いにあるようだ。このため、燃料油の供給日により強材料が優勢になることもあるようだ。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、762.00～772.00ドルと同16.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安が要因。売唱えは762.00～785.00ドルが聞かれた。

**◎公示価格**
**○台湾中油の公示価格=バンカー重油価格(LS180cst)、LSMGO価格をそれぞれ切り下げ**

台湾中油(CPC)は1日、バンカー重油価格(LS180cst)を5.00ドル、LSMGO価格を6.00ドルそれぞれ切り下げた。一方、バンカー重油価格(380cst)は据え置いた。なお、主要港のスポット価格は以下のとおり。

	380cst	180cst (0.5%S)	LSMGO (0.1%S)
高雄	479.00	660.00	874.00
基隆	n. a.	660.00	874.00
台中	n. a.	660.00	874.00
その他	n. a.	660.00	874.00

**◎マーケットニュース**
**○台湾=石油2社の製油所平均稼働率、81.7%と先週から8.3ポイント上昇**

リム調べによると、台湾石油2社の合計の原油処理量は29日時点で日量89万バレルと先週から11.3%増加した。台湾中油(CPC)が原油処理量を日量41万バレルに引き上げた。桃園製油所(日量20万バレル)で先週、常圧蒸留装置(日量10万バレル)1基が定修明けした。フォルモサ石油化学(FPCC)の原油処理量は日量48万バレル。3月中旬に、常圧蒸留装置(日量18万バレル)、残渣油流動接触分解装置(RFCC、日量7万6,000バレル)および残渣油脱硫装置(日量8万500バレル)などが4月末～5月初めまでの予定で定修に入る。3月の平均原油処理量は日量38万バレルを予定している。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量109万バレル。製油所の平均稼働率は実働能力に対し81.7%となった。

Capacity	CPC		Formosa		Total	
	550,000	b/d	540,000	b/d	1,090,000	b/d
Feb 29, 2024	74.5	%	88.9	%	81.7	%
	410,000	b/d	480,000	b/d	890,000	b/d

Feb 22, 2024	58.2 %	320,000 b/d	88.9 %	480,000 b/d	73.4 %	800,000 b/d
Feb 15, 2024	58.2 %	320,000 b/d	88.9 %	480,000 b/d	73.4 %	800,000 b/d
Feb 01, 2024	58.2 %	320,000 b/d	87.0 %	470,000 b/d	72.5 %	790,000 b/d

## ◎お知らせ

### OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2023年12月20日、証券監督者国際機構 (IOSCO) により定められた石油価格報告機関 (PRA) に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

#### <対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品 (Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

### ○クロスビュー重油レポートのお知らせ

産業燃料として欠かせない重油の用途は、船舶燃料、発電、ボイラー用と多岐にわたります。ただ、「同じ重油を扱っているのに、他業界の需要動向についてはまったく知識がない」といった声もあり、多くの市場関係者から、「重油に関する情報を幅広く知りたい」という要望をしばしばいただくようになりました。

こうした状況を踏まえ、当社が得意とする価格取引情報と各種の統計データを組み合わせ、国内外の重油マーケットを多面的に捉えようと試みているのがこのレポートです。内燃研・メニュー価格予想、アスファルト最新事情、さらに昨今一番注目されている脱炭素エネルギー関連情報など幅広いトピックも取り上げています。毎月10日号および25日号の計2回発行です。

内容についてのご質問等は、リム・クロスビューチームまで御連絡ください。

電話：03-3552-2411 E-Mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

### ○バイオマスレポート英語版発刊のお知らせ

リム情報開発が発行するバイオマスレポート (週刊) の英語版が好評です。日本や韓国など北東アジアでも発電燃料として需要が高まっている木質ペレットやPKSといったバイオマス燃料に関する情報を、海外のご購読者にもお届けしています。

- 木質ペレットとPKSの東南アジア積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットの北米積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSの日本着価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSのフレートとマーケットコメント
- 日本や韓国の需要家による買付け入札情報

内容のお問い合わせ、購読のお申込みは、リム情報開発バイオマスチームへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/biomassEnglishJp/>

Tel: 03-3552-2411

Email: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

**事業所一覧**

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局]

Tel: 65-6912-7359

e-mail: [lim@rim-intelligence.co.jp](mailto:lim@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社]

Tel: (86)10-6498-0455, Fax: (86)10-6428-1725

e-mail: [ma@rim-intelligence.co.jp](mailto:ma@rim-intelligence.co.jp), [huo@rim-intelligence.co.jp](mailto:huo@rim-intelligence.co.jp)

[上海支社]

Tel: (86)-21-6760-6331, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2024 RIM INTELLIGENCE CO.

[お申し込み >](#)[試読 >](#)